

## E 臨床歯学

### E-1 診療の基本

#### E-1-1) 診察の基本

- E-1-1)-① 診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。
- E-1-1)-② 診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。
- E-1-1)-③ 病歴聴取(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等)を説明できる。
- E-1-1)-④ 現症の取り方(視診、触診、打診、聴診等)を説明できる。
- E-1-1)-⑤ 診療室における患者の心理と行動を説明できる。
- E-1-1)-⑥ 診断に必要な検査を列挙できる。
- E-1-1)-⑦ 問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる。
- E-1-1)-⑧ インフォームド・コンセントを説明できる。
- E-1-1)-⑨ 処方と処方箋の書き方を説明できる。
- E-1-1)-⑩ 技工指示書の書き方を説明できる。

#### E-1-2) 画像検査を用いた診断

- E-1-2)-① 放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。
- E-1-2)-② 放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。
- E-1-2)-③ 放射線防護の基準と方法を説明できる。
- E-1-2)-④ エックス線画像の形成原理(画像不良の原因と含む)を説明できる。
- E-1-2)-⑤ エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。
- E-1-2)-⑥ 口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。
- E-1-2)-⑦ 口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。
- E-1-2)-⑧ 顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。
- E-1-2)-⑨ 造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

#### E-1-3) 臨床検査

- E-1-3)-① 臨床検査の目的と適応を説明できる。
- E-1-3)-② 診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。
- E-1-3)-③ 心電図検査及び動脈血酸素飽和度測定(パルスオキシメトリ)の目的と適応を列挙できる。
- E-1-3)-④ 各臓器における疾患に特有な検査項目を説明できる。
- E-1-3)-⑤ 臨床検査結果と疾患の関係を説明できる。

#### E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理

##### E-1-4)-(1) 全身管理

- E-1-4)-(1)-① バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。
- E-1-4)-(1)-② 血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。
- E-1-4)-(1)-③ 体温の測定方法を説明できる。
- E-1-4)-(1)-④ 意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。
- E-1-4)-(1)-⑤ 患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
- E-1-4)-(1)-⑥ 患者(小児、妊産婦、高齢者を含む)の全身状態の評価を説明できる。

**E-1-4)-(2) 精神鎮静法**

- E-1-4)-(2)-① 精神鎮静法の特徴と目的及び種類を説明できる。
- E-1-4)-(2)-② 吸入鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症を説明できる。
- E-1-4)-(2)-③ 静脈内鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症を説明できる。
- E-1-4)-(2)-④ 精神鎮静法の周術期の管理を説明できる。

**E-1-4)-(3) 局所麻酔法**

- E-1-4)-(3)-① 局所麻酔の特徴と目的及び種類を説明できる。
- E-1-4)-(3)-② 局所麻酔薬の分類と、その作用機序を説明できる。
- E-1-4)-(3)-③ 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。
- E-1-4)-(3)-④ 血管収縮薬の使用目的と種類、特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。
- E-1-4)-(3)-⑤ 局所麻酔の実施法と合併症(偶発症)を説明できる。

**E-1-4)-(4) 全身麻酔法**

- E-1-4)-(4)-① 全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。
- E-1-4)-(4)-② 全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。
- E-1-4)-(4)-③ 全身麻酔の適応と禁忌、合併症及び周術期の管理を説明できる。

**E-1-5) 小手術**

- E-1-5)-① 抜歯の適応症と禁忌症(相対的禁忌への対応及び小手術の適応症と禁忌を含む)を説明できる。
- E-1-5)-② 小手術の合併症(偶発症)を説明できる。
- E-1-5)-③ 小手術に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。
- E-1-5)-④ 粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。
- E-1-5)-⑤ 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。
- E-1-5)-⑥ 手指と術野の消毒法を説明できる。
- E-1-5)-⑦ 清潔と不潔の区別を説明できる。
- E-1-5)-⑧ 器具の消毒・滅菌法を説明できる。
- E-1-5)-⑨ 埋伏歯(智歯を含む)の抜去法を説明できる。
- E-1-5)-⑩ 周術期の管理の目的と意義を説明できる。

**E-1-6) 救急処置**

- E-1-6)-① 歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。
- E-1-6)-② 一次救命処置(basic life support <BLS>)を説明できる。
- E-1-6)-③ 救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序と適応を説明できる。

## E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患

### E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能

- E-2-1)-① 頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。
- E-2-1)-② 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。
- E-2-1)-③ 咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。
- E-2-1)-④ 頭頸部の脈管系を説明できる。
- E-2-1)-⑤ 脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。
- E-2-1)-⑥ 顎関節の構造と機能を説明できる。
- E-2-1)-⑦ 下顎の随意運動と反射を説明できる。
- E-2-1)-⑧ 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。
- E-2-1)-⑨ 嚥下の意義と制御機構を説明できる。
- E-2-1)-⑩ 嘔吐反射と絞扼反射を説明できる。
- E-2-1)-⑪ 咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。
- E-2-1)-⑫ 扁桃の構造、分布及び機能を説明できる。

### E-2-2) 口腔領域の構造と機能

- E-2-2)-① 口腔の区分と構成要素を説明できる。
- E-2-2)-② 口唇と口腔粘膜の分類と特徴を説明できる。
- E-2-2)-③ 舌の構造と機能を説明できる。
- E-2-2)-④ 歯列と咬合を説明できる。
- E-2-2)-⑤ 唾液の性状、構成成分及び機能を説明できる。
- E-2-2)-⑥ 唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。
- E-2-2)-⑦ 上顎洞の構造、機能及び口腔との関係を説明できる。
- E-2-2)-⑧ 構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。
- E-2-2)-⑨ 口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明できる。
- E-2-2)-⑩ 味覚器の構造と分布、味覚の受容と伝達機構を説明できる。

### E-2-3) 口腔・顎顔面領域の発生と加齢変化

- E-2-3)-① 口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。
- E-2-3)-② 口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる。
- E-2-3)-③ 口腔・顎顔面の成長・発育異常及び不正咬合へ及ぼす影響を説明できる。
- E-2-3)-④ 口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる。

### E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患

#### E-2-4)-(1) 先天異常及び後天異常

- E-2-4)-(1)-① 口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。
- E-2-4)-(1)-② 口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。
- E-2-4)-(1)-③ 顎変形症の病態と治療法を説明できる。
- E-2-4)-(1)-④ 軟組織の異常を説明できる。

**E-2-4)-(2)**

**外傷**

- E-2-4)-(2)-① 外傷の種類、特徴及び治癒過程を説明できる。
- E-2-4)-(2)-② 外傷の治療方針(治療の優先順位)を説明できる。
- E-2-4)-(2)-③ 歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(2)-④ 顎顔面骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(2)-⑤ 軟組織損傷の分類、症状及び処置法を説明できる。

**E-2-4)-(3)**

**炎症**

- E-2-4)-(3)-① 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。
- E-2-4)-(3)-② 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。
- E-2-4)-(3)-③ 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。
- E-2-4)-(3)-④ 菌血症と歯性病巣感染の病態、症状、検査法及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(3)-⑤ 消炎療法の意義と特徴を説明できる。
- E-2-4)-(3)-⑥ 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等)の症状と治療法を説明できる。
- E-2-4)-(3)-⑦ 口腔・顎顔面領域の肉芽腫性炎の種類と特徴を説明できる。

**E-2-4)-(4)**

**口腔粘膜疾患**

- E-2-4)-(4)-① 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。
- E-2-4)-(4)-② 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患の症状と治療法を説明できる。

**E-2-4)-(5)**

**嚢胞**

- E-2-4)-(5)-① 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。
- E-2-4)-(5)-② 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。

**E-2-4)-(6)**

**腫瘍及び腫瘍類似疾患**

- E-2-4)-(6)-① 口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。
- E-2-4)-(6)-② 口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(6)-③ 口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(6)-④ 腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。
- E-2-4)-(6)-⑤ 前癌病変の特徴、症状及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(6)-⑥ 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。

**E-2-4)-(7)**

**顎関節疾患**

- E-2-4)-(7)-① 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。
- E-2-4)-(7)-② 顎関節疾患(発育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患)の症状、診断法及び治療法を説明できる。

**E-2-4)-(8)**

**唾液腺疾患**

- E-2-4)-(8)-① 唾液腺の発育異常を概説できる。
- E-2-4)-(8)-② 唾石症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(8)-③ 唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(8)-④ 唾液腺腫瘍の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(8)-⑤ 腫瘍類似疾患を概説できる。
- E-2-4)-(8)-⑥ ウイルス性唾液腺炎の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(8)-⑦ Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。

#### E-2-4)-(9) 神経疾患

- E-2-4)-(9)-① 口腔顔面痛を説明できる。
- E-2-4)-(9)-② 三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(9)-③ 顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。
- E-2-4)-(9)-④ 三叉神経麻痺(感覚麻痺、運動麻痺)の原因、症状及び治療法を説明できる。

#### E-2-4)-(10) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患

- E-2-4)-(10)-① 口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を説明できる。
- E-2-4)-(10)-② 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
- E-2-4)-(10)-③ 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。
- E-2-4)-(10)-④ 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患及びその症状を列挙できる。
- E-2-4)-(10)-⑤ 口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
- E-2-4)-(10)-⑥ 口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法を列挙できる。
- E-2-4)-(10)-⑦ 口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
- E-2-4)-(10)-⑧ 口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。
- E-2-4)-(10)-⑨ 口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。
- E-2-4)-(10)-⑩ ヒト免疫不全ウイルス(human immunodeficiency virus <HIV>)感染症と後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome <AIDS>)の口腔症状と検査法を説明できる。
- E-2-4)-(10)-⑪ 口腔・顎顔面領域の慢性的痛みの原因、症状及び治療法を説明できる。

#### E-2-4)-(11) 口腔・顎顔面領域の機能障害

- E-2-4)-(11)-① 咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
- E-2-4)-(11)-② 摂食嚥下障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
- E-2-4)-(11)-③ 発音・構音・発語障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
- E-2-4)-(11)-④ 味覚異常の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
- E-2-4)-(11)-⑤ 口腔乾燥の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
- E-2-4)-(11)-⑥ 睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を概説できる。

### E-3 歯と歯周組織の常態と疾患

#### E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能

- E-3-1)-① 歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。
- E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
- E-3-1)-③ 遺伝的な歯の形成異常を説明できる。
- E-3-1)-④ 歯(乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。
- E-3-1)-⑤ 歯髓の構造と機能を説明できる。
- E-3-1)-⑥ 歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。

#### E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

- E-3-2)-① 歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の病因と病態を説明できる。
- E-3-2)-② 歯髓・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。
- E-3-2)-③ 歯周疾患の病因と病態を説明できる。
- E-3-2)-④ 口腔細菌、プラーク(口腔バイオフィルム)及び歯石を説明できる。
- E-3-2)-⑤ 歯痛の機序を説明できる。

### E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療

#### E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療

- E-3-3)-(1)-① 齶蝕その他の歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の症状、検査法、診断及び処置法(再石灰化療法を含む)を説明できる。
- E-3-3)-(1)-② minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。
- E-3-3)-(1)-③ 修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。
- E-3-3)-(1)-④ 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
- E-3-3)-(1)-⑤ 歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。
- E-3-3)-(1)-⑥ 窩洞形成の意義と方法を説明できる。
- E-3-3)-(1)-⑦ 仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。
- E-3-3)-(1)-⑧ 修復後の管理の目的と方法を説明できる。

#### E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療

- E-3-3)-(2)-① 歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。
- E-3-3)-(2)-② 根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。
- E-3-3)-(2)-③ 歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症(偶発症)について、種類、処置及び予防を説明できる。
- E-3-3)-(2)-④ 歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。
- E-3-3)-(2)-⑤ 外科的歯内療法(手術用実体顕微鏡の利用を含む)の種類と適応を説明できる。
- E-3-3)-(2)-⑥ 失活歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。
- E-3-3)-(2)-⑦ 歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。

#### E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療

- E-3-3)-(3)-① 歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる(疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む)。
- E-3-3)-(3)-② 歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンス法を含む)を説明できる。
- E-3-3)-(3)-③ 歯周治療の術式と適応症を説明できる。
- E-3-3)-(3)-④ 歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。
- E-3-3)-(3)-⑤ 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。

### E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療

#### E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療

- E-3-4)-(1)-① クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。
- E-3-4)-(1)-② クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAMを含む)を説明できる。
- E-3-4)-(1)-③ 支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。
- E-3-4)-(1)-④ 支台歯形成の意義と方法を説明できる。
- E-3-4)-(1)-⑤ クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
- E-3-4)-(1)-⑥ 色調選択(シェードテイキング)を説明できる。
- E-3-4)-(1)-⑦ プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。
- E-3-4)-(1)-⑧ クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。
- E-3-4)-(1)-⑨ 研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。
- E-3-4)-(1)-⑩ 平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。
- E-3-4)-(1)-⑪ クラウンブリッジの装着方法を説明できる。
- E-3-4)-(1)-⑫ クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。
- E-3-4)-(1)-⑬ クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。

**E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)**

- E-3-4)-(2)-① 歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
- E-3-4)-(2)-② 可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。
- E-3-4)-(2)-③ 可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。
- E-3-4)-(2)-④ 可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑥ 可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑦ 歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑧ 調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑨ 人工歯の選択を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑩ 可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑪ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑫ 可撤性義歯の製作過程を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑬ 可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
- E-3-4)-(2)-⑭ 可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。

**E-3-4)-(3) 口腔インプラント**

- E-3-4)-(3)-① 口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。
- E-3-4)-(3)-② 口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。
- E-3-4)-(3)-③ 口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。
- E-3-4)-(3)-④ 口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。
- E-3-4)-(3)-⑤ 埋入手術方法を説明できる。
- E-3-4)-(3)-⑥ 口腔インプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。
- E-3-4)-(3)-⑦ 口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。
- E-3-4)-(3)-⑧ メンテナンスの重要性を説明できる。

**E-4 矯正歯科・小児歯科治療**

**E-4-1) 不正咬合の治療**

- E-4-1)-① 矯正治療の目的と意義を説明できる。
- E-4-1)-② 正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。
- E-4-1)-③ 不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を説明できる。
- E-4-1)-④ 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
- E-4-1)-⑤ 矯正装置の種類と特徴及び使用目的を説明できる。
- E-4-1)-⑥ 矯正治療によって起こる生体反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。
- E-4-1)-⑦ 矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。

## E-4-2) 小児の歯科治療

- E-4-2)-① 乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる。
- E-4-2)-② 乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。
- E-4-2)-③ 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。
- E-4-2)-④ 乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる。
- E-4-2)-⑤ 乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。
- E-4-2)-⑥ 小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。
- E-4-2)-⑦ 小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。
- E-4-2)-⑧ 咬合誘導の概念を説明できる。
- E-4-2)-⑨ 保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計について説明できる。
- E-4-2)-⑩ 小児患者の対応を説明できる。
- E-4-2)-⑪ 小児の虐待の徴候と対応を説明できる。
- E-4-2)-⑫ 口腔習癖が歯列・咬合に及ぼす影響を説明できる。

## E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患

### E-5-1) 高齢者の歯科治療

- E-5-1)-① 高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。
- E-5-1)-② 高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。
- E-5-1)-③ 口腔機能低下の検査と予防法(介護予防を含む)を説明できる。
- E-5-1)-④ 高齢者における口腔健康管理の用具と処置を説明できる。
- E-5-1)-⑤ 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
- E-5-1)-⑥ 要介護高齢者(在宅要介護者を含む)の歯科治療時の注意点を説明できる。
- E-5-1)-⑦ 在宅医療(訪問歯科診療を含む)を説明できる。
- E-5-1)-⑧ 摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。
- E-5-1)-⑨ 摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。
- E-5-1)-⑩ 栄養管理や食形態の調整を説明できる。
- E-5-1)-⑪ 高齢者の虐待の徴候と対応を説明できる。

### E-5-2) 障害者の歯科治療

- E-5-2)-① 障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。
- E-5-2)-② 障害者の行動調整(行動管理)と歯科治療に必要な注意点を説明できる。
- E-5-2)-③ 障害者における歯科治療の特殊性を説明できる。
- E-5-2)-④ 障害者の口腔ケア及び口腔衛生指導を説明できる。
- E-5-2)-⑤ 発達期の摂食嚥下障害の診察、評価、診断を説明できる。
- E-5-2)-⑥ 発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。

### E-5-3) 精神・心身医学的疾患

- E-5-3)-① 心身相関を説明できる。
- E-5-3)-② 口腔顔面領域に関連して現れる精神・心身医学的病態を説明できる。
- E-5-3)-③ 心理テストの目的と意義を説明できる。
- E-5-3)-④ 舌痛症を説明できる。
- E-5-3)-⑤ 歯科治療恐怖症を説明できる。
- E-5-3)-⑥ 心身医学的治療を説明できる。



## E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

- E-6-① 全身の症候・病態を説明できる。(発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢)
- E-6-② 医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。
- E-6-③ 妊産婦の歯科医療時の注意点を説明できる。